

地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業（R5年度採択）

共同研究拠点化に向けた施設やオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備

クリーンエネルギー研究拠点施設整備

本学の最大の強みである水素・燃料電池を中心としたクリーンエネルギー研究により、わが国のエネルギー供給構造の転換GXにおけるクリーンエネルギー研究推進の司令塔となる拠点を整備することにより、地域産業の生産性向上や雇用創出を牽引し、自治体、産業界および金融業界等との協働を通じ、地域課題解決、更には「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指す。ベンチャー創出事業に強みを有する信州大学が連携機関として参画する。



※完成イメージ

提案大学：山梨大学
参画機関：信州大学

事業規模：10億円

- 名称：ゼロエミッション
みらいラボ
Zero Emission
Mirai Lab
- 場所：甲府東キャンパス
- 規模：地上4階
- 延床面積：1,614㎡

神経細胞-グリア細胞研究を加速する拠点施設整備

順天堂大学の世界トップクラスの神経変性疾患の治療・臨床研究を山梨大学の世界トップクラスのグリア・シナプス研究でサポート強化する目的として、ウエット研究を推進するための最先端設備を有する施設を整備する。これにより、拠点初スタートアップの創出を目指すとともに、変革に対応しうる人材を育成する。また、相互に高速かつ安全なDX技術による情報資産を共有し、効率的な独自の最先端技術の創出・実装を目指す。



※完成イメージ

提案大学：順天堂大学
連携大学：山梨大学

事業規模：10億円

- 名称：ニューロン-グリア
クロストークセンター
山梨（NGCC山梨）
- 場所：医学部キャンパス
- 規模：地上3階
- 延床面積：1,430㎡